

平成18年7月1日
原子力安全対策課
(18—23)
<16時30分記者発表>

敦賀発電所2号機の調整運転の停止について (脱気器タンク水位制御弁の不調)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所2号機(加圧水型軽水炉;定格電気出力116.0万kW)は、第15回定期検査中(平成18年4月23日～)であり、6月30日に調整運転を開始し、電気出力50%に向けて出力上昇操作を行っていたところ、6月30日23時18分頃(電気出力約28%)、2次系にある脱気器タンクの水位を制御する(復水流量を調整する)脱気器タンク水位制御弁*の開度が安定しない事象が認められた。

このため、出力上昇操作を中断し当該弁の外観点検等を行い、異常が認められなかったことから、7月1日10時に出力上昇操作を再開した。

しかし、出力上昇操作に伴い徐々に開くべき当該弁が開動作しない事象が認められたため、12時15分に出力上昇操作(電気出力約33%)を中断し、12時18分に電気出力を約20%に降下させた。

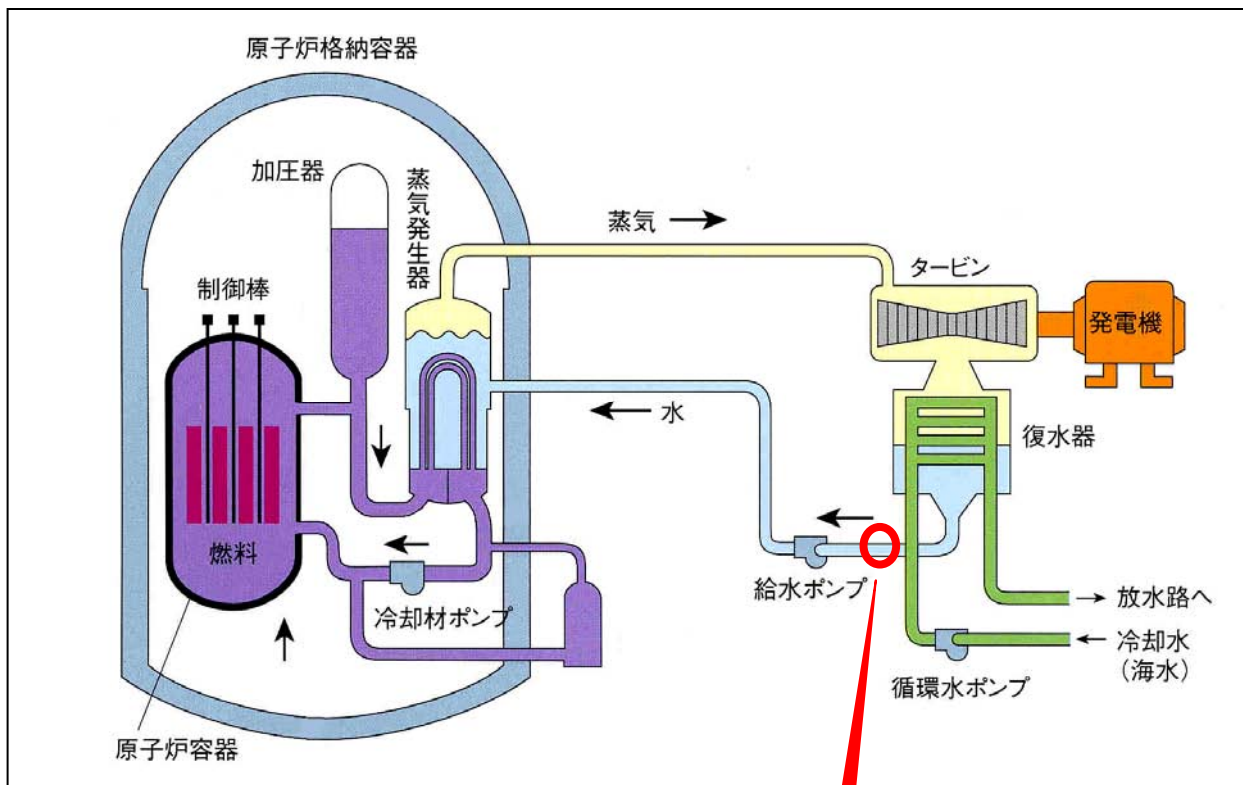
当該弁の不調の原因等について詳細に調査するため、本日17時頃から出力降下し、21時30分頃に原子炉を停止することとした。

なお、この事象による環境への放射能の影響はない。

*:脱気器タンクの水位は、脱気器タンク水位バイパス制御弁(小型の弁)と脱気器タンク水位制御弁(大型の弁)の2弁により制御される。電気出力約28%以上では脱気器タンク水位制御弁にて制御される。

問い合わせ先(担当:藤内)
内線2354・直通0776(20)0314

脱気器タンク水位制御弁概略図



系統概略図 (当該部)

